

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

2000.6.12 No.148

第43回定期委員会に結集しよう!

動労千葉第四三回定期委員会
が、七月八日(土)十時から、
動労千葉の新たな歴史のページ
を拓くこととなる完成なった
DC会館(新会館)において行
われる。また、同日午後三時か
らは、「新会館竣工レセプション」
が開催される。

今、定期委員会は、昨年の第
四二回定期大会以降の闘いー資
本による全産業的なベアゼロ攻
撃の激化の中において、新たな
春闘構築の展望を全労働者にさ
し示した、春闘第一波ー二波ス
トを中心とした闘いを総括し、
「定年延長」の法の趣旨にも合
致しない、合理化とセットにな
った東日本における、「シニア
制度」粉砕の闘いを軸とした、
今夏ー秋の闘いを確認していく
重要な委員会となる。

原点に立った闘
いを堅持し展開
しよう!

しかも何よりも国鉄闘争にと
って、七・八定期委員会の持つ
意味は今や決定的重要性を持つ
こととなった。日刊動労千葉五
一四四・五一四五号で既報の通
り、国鉄労働運動は現在その大
きな岐路に立っている。国鉄労
働運動の輝かしい闘いー現在の
全労働者にかけられてきている
国鉄方式の首切り攻撃の中で、
その勝利の展望を導く力を持っ
た清算事業団闘争ー一〇四七名
闘争に対する、「四党合意」
「無条件降伏案」など絶対に許
してはならない。

国鉄労働運動の
伝統を真に継承
しよう!

国労本部には、次々と、日本
の労働運動に大きな影響と汚点
を残す「解決案」受入れに対し
て抗議と、撤回要求が集中して
いるー「あまりにも無防備な全
面屈伏路線」、「JLO勧告さ
えも否定し、国際的にも批判は
免れない」、「会社分割法が成
立した今日、国労が真に労働者
の砦として奮闘することが求め
られている」、「JRに法的な
責任がないことを認めて、どう
やってJRに戻れるのか」、「
JR内で差別に苦しみながら働
く国労の仲間を裏切るものだ」
「こんな解決は望まない!子供
に苦勞をかけたことがムダにな
ってしまう」等々、この声をど
う聞くというのか、国家をあげ
た攻撃を、日々、真正面から打
ち砕き続けている、一〇四七名
闘争は確実に勝利の展望を切り
拓く闘いである。再度言う。一
切を投げ捨てるようなことは絶
対にしてはならない。

動労千葉新時代
DC会館を闘い
の発信基地へ!

「連合」発足以降の、日本労
働運動総体の停滞傾向を打破し、
重大な岐路にたつ国鉄闘争の中
に起って、それを大きく打ち破
る、動労千葉新時代を築く、新
たな会館DC会館が今月末に
も完成となる。

新たな闘いの発信基地、新た
な闘いの砦の完成を祝って、同
日、定期委員会終了後、新会館
竣工レセプションが行われる。
われわれは、幾多の先達が脈
々と築き上げてきた、国鉄労働
運動の闘いを引き継ぎ、真にそ
の闘いの継承を、このDC会館
の竣工に込めなければならぬ。
その意味から言っても、今後
の国鉄労働運動の歴史の新たな
息吹のページを刻むものとし
ようではないか!
そして今日をこうして迎える
に至った、解雇者ー配転者ー旅
客ー貨物一体となった闘いを改
めて確認し、動労千葉新時代を
自らの手で築き、作りあげる闘
いに決起しよう!
七月八日、午後三時、全力で
DC会館竣工レセプションに結
集しよう!

第四三回定期委員会

七月八日十時

新会館 竣工

動労千葉新時代へ!
全力で結集しよう!

竣工レセプション

七月八日十五時

場所 DC会館